

発行者

公益社団法人 関西吟詩文化協会

公認 **華 洲 会** (広報紙)

発行責任者

会 長 山口華雋

編集責任者

広報部長 竹本瑞鼓



「華」第 64 号 発行:平成28年5月25日

主な記事

- 2面 総会模様 事業方針
- 3面 28年度 役員構成
- 4面 新役員 将来展望を語る
- 5面 事業計画(その2) 新役員の抱負
- 6面 吟詠歌謡の新たな世界 新役員抱負
- 7面 東明未来塾を受講して
- 8面 江南歴史紀行…詩中の景を求めて

山口華雋 華洲会会長 山口体制初の総会にて指針を示す

・議論を戦わせ心ひとつに一体感を醸成する
・吟力アップに華洲会版東明塾を
・会員の地域バランスに配慮し川西地域にて連絡会・研修会を開催
・会員の高齢化に対処し諸施策遂行のため、人材活用の見地から役員定年を2年延ばす



華洲会会長
山口華雋

会長挨拶

去る一月九

日の華洲会臨

時総会におい

て濱田華亮前

会長の顧問就

任に伴い会長

という大任をお受けすることになりました。

三浦華洲創始会主が創設され、初代故宮崎華

驩先生、二代目故佐々木華豊先生、三代目濱

田華亮先生を始め先輩諸先生が築いて頂いた

華洲会の伝統を守り、次の世代へと継承して

いかなければならないという責任感で一杯で

ございます。

華洲会は本年三月末の会員数は、四百一名

となり、減少の歯止めが掛かりませんでした。

又、吟界を取り巻く環境は大変厳しいものが

あり、その中で華洲会をどのように次の世代

の人に継承するかは、大変困難な道でありま

す。しかし私達は、ここで悩んで手をこまね

いて会員減少を待っている訳には参りません。

顧問・常任相談役・相談役・参与の先生方

のお力もお借りし、全役員が一丸となってこの

難局を乗り越えなければならないと思ってお

ります。

その為に二十八年度は、情報と問題点を共

有化する。全員で議論を重ね知恵を出し合い、

華洲会の十年後を視野に、今後の華洲会の進

むべき方向をこの一年間かけて模索して参り

たいと思っています。そして華洲会全員が一

丸となって未来に向かって進んで参りまし

よう。

本年度の重点課題

一、「情報と問題点を共有化」

(二か月に一度分会講師支部長を含む全

役員が集合する連絡会を開催する)

二、「皆で決めて、皆で守る」ことによる

一体感の創生

三、「二人が一人に声を掛けよう」運動を展

開

四、指導者の育成

(師範代以上対象の指導者養成研修会を

二か月に一度開催する)

五、青年部員の活性化

六、高齢化対策の実施

(定年制延長と支部・教室閉鎖の防止)

七、規約改定の検討

(規約改定委員会を立ちあげ検討する)

平成19年からの「華洲会会員数の推移」

各年4月1日現在

	総帥	総師範	高師範	上師範	師範	準師範	師範代	一般	大人計	学生	合計
平成28年	1	15	8	8	31	34	43	221	361	40	401
前年比	0	1	1	▲2	0	▲1	▲2	▲20	▲23	12	▲11
平成27年	1	14	7	10	31	35	45	241	384	28	412
前年比	0	0	0	▲1	▲1	▲1	▲4	▲13	▲20	▲3	▲23
平成26年	1	14	7	11	32	36	49	254	404	31	435
前年比	1	▲1	▲2	1	▲3	▲2	▲5	22	11	▲1	10
平成25年		15	9	10	35	38	54	232	393	32	425
前年比		1	▲3	3	▲3	1	▲1	▲5	▲7	3	▲4
平成24年		14	12	7	38	37	55	237	400	29	429
前年比		1	▲2	▲1	0	2	1	▲13	▲12	▲1	▲13
平成23年		13	14	8	38	35	54	250	412	30	442
前年比		0	3	▲3	▲1	1	3	▲16	▲13	6	▲7
平成22年		13	11	11	39	34	51	268	425	24	449
前年比		3	0	▲3	▲6	▲3	▲10	▲21	▲40	1	▲39
平成21年		10	11	14	45	37	61	287	465	23	488
前年比		1	▲1	▲3	5	▲9	3	5	1	2	3
平成20年		9	12	17	40	46	58	282	464	21	485
前年比		1	▲1	0	3	7	▲2	▲25	▲17	1	▲16
平成19年		8	13	17	37	39	60	307	481	20	501
前年比		0	1	3	▲2	▲8	0	45	39	5	44

会員数情報

華洲会・関西吟ゴルド公認会

平成28年度第4位

華洲会は平成26年度一般会員数404名で第3位でしたが、27年度は20名の減384名で第4位となり、28年度は23名の減361名で昨年度同じく第4位となりました。

28年度、200名以上の会員を擁するゴルド公認会数は14団体。

華洲会は大坂地区連合会北ブロックに所属していますが、ブロック内最大の会として会員数を維持してゆく努力をしなければと考えます。

華洲会51年目のスタート、定期総会に当たり 三浦華洲先生の教えを引き継いで新たなスタートを

5月1日大東市民会館で開催の華洲会平成28年度総会に於いて、種田紅鞠副会長は開会の言葉で「今日は、山口華雋先生が会長に就任されて、初めての総会です。」

昨年の華洲会50周年記念大会は皆様のご協力により、盛会裏に終わりました。今年は51年目になります。これからは、山口華雋先生が、三浦華洲先生の教えを引き継いで、色々新しいことを、華洲会発展の為に計画されておられると思います。この吟界の不況の中で、華洲会が益々発展できるように御協力お願いしたい」と述べた。

総会成立宣言に引き続き、議長に選出された坂本充綜副事務局長は挨拶の中で「新会長、山口華雋先生の下での第1回目の定期総会という事ですが、今まさに変革への挑戦、チャレンジ、チェンジ・エンド・チャレンジ、会長が変わり、51年目のスタートに向かって新しい活力ある華洲会を目指してそして、これからいろいろ議案がございますけれども、皆様方のご審議お願い

したい」と述べた。



議長 坂本充綜 挨拶

議事に先立ち濱田華充顧問からは老荘青一丸となって進んでほしいと、次の通りご挨拶。

濱田華充 華洲会顧問



こんにちは、2年程前から腰前に掛かり、特に今年に入ってから腰の調子が悪く、今日も常任理事の藤原さんに車で迎えに来て頂き、久しぶりに役員会に出席することが出来ました。

50周年が終わり、長い歳月

のなかで、現在の役員また会員の皆様は勿論のこと、その時代に生きて、活動された多くの方々の御恩はしっかり胸に刻んで整理しております。

今日は新役員が多く誕生しておりますが、汗を流してきた先人達の事を忘れないで下さい。特に今も元気に活動されております、常任相談役・相談役・参与の先生方は、古いだけでなく、経験と豊富な知識を持っておられますので、謙虚な気持ちでお話をお聞きするのも、吟界の事を一層理解する事になります。

今日から、山口会長のもと、新体制が始まります。大いに期待しております。私も「顧問」という立場でございますが、会の発展の為にすることは、大いに協力し、おかしい事は忌憚のない意見をと考えています。

皆さんに、本会会員として今後も共通の認識を持つことの一つは、華洲会の特別の人は「故三浦華洲先生」となります。顧問・会長・他の役員も会員と原則的には平等なのです。

このように理解すれば、本会に愛着を覚えるのではないかと思います。

総会関連(その1)

28年度事業計画・事業方針(要旨)

華洲会50周年記念事業は、昨年11月に無事終了しました。これは会員皆さんの物心両面のご協力と深く感謝するものです。

本年は51年目となり私達は故会主三浦華洲先生の意思を継ぎ、次の時代へ継承してゆかなければなりません。しかし、吟界を取り巻く環境は厳しく、華洲会においても同様であり、昨年2つの教場が高齢化・病気等により閉鎖され、会員減少が続きました。平成28年度は一般会員322名で対前年度23名の減、幼少年40名を加えて、会員数262名と減りました。会員減少率6.3%は、関西吟詩の減少率4%に比べ高い状況です。この減少を食い止めもう一度一般会員数300名を目指さなければなりません。

その為には、
1、一人が一人の仲間を呼んで頂きたい。
2、指導者の養成を行う事(会には100名を超える指導者がいます。この中から新しい教場を立ち上げてくれる指導者を養成する。また、教場の後

継者の養成が急務です)

3、青年部の活性化を行う事(次の時代を担ってくれるのは青年部であり、若い会員は若い指導者でなければ集まりません)

4、会高齢化対策を検討(指導者の高齢化・病気により、支部解散・教室閉鎖が散見されるなど、人材不足が懸念され、会の運営に支障をきたし兼ねない為、定年制の見直しを含めた高齢化対策を検討する)

基本方針として、平成28年度は、情報を共有化し、問題点を共有化する。そして、全員で議論を重ね知恵を出し合い、華洲会の10年後を視野に、全員一丸となって前進いたしましう。(其の2はp5)



吟合会・模範総会

平成28年度 華洲会役員構成

平成28.29年度 華洲会役員

◇ 支部長及び理事(順不同)

◎印は本部役員

役職名	資 格	氏名(雅号)	支部名	備考	支 部 名	資 格	氏名(雅号)	備 考
顧 問	総 師 範	濱田華亮	京阪楠葉		四 条 噺	師 範	下美華罔	支部長
会 長	宗 帥	山口華雋	雋詠寺川			師 範	◎中道篤華	妙見分会講師
常任相談役	総 師 範	深町華燁	燁 吟		楠の里	総師範	◎小寺竜鵬	支部長
〃	総 師 範	小野華篁	四条噺		四条楠公	師 範	◎南 桜紅	支部長
〃	総 師 範	大上華鞠	学 園		雋詠寺川	総師範	◎奥山紅雋	支部長 奥山分会講師
〃	総 師 範	大木華蕃	雋詠寺川			師 範	◎園部奎雋	高槻分会講師
〃	総 師 範	中谷将鳳	勢 多			師 範	末延翔雋	高知分会講師
〃	総 師 範	林 華環	指 月		雋詠京都	総師範	◎奥山紅雋	京都支部講師
〃	高 師 範	田中尚叡	多田東	監事		師 範	◎高谷兼妙	高谷分会講師
副 会 長	総 師 範	種田紅鞠	学 園		準師範	市木紅鐘	支部長	
〃	総 師 範	小寺竜鵬	楠の里		雋詠伊賀	総師範	◎町 綏雋	火曜分会講師
〃	総 師 範	政安恵豊	川西豊友	女性部担当		師 範	岡森鵬雋	火曜分会講師
〃	総 師 範	岡島彩鼓	川西大和	教養部長		師 範	◎嶋澤俊雋	支部長 嶋澤分会講師
〃	総 師 範	奥山紅雋	雋詠京都	研修部長	京阪楠葉	師 範	◎藤原亮晟	支部長
〃	高 師 範	中村尚儒	川西北	事務局担当		師 範	辻 亮泉	宇治木幡分会講師
相 談 役	総 師 範	苗加竜桜	楠の里		学 園	総師範	◎坂本亮綜	ソレイユ分会講師
〃	高 師 範	本田肇勲	野崎観音		野崎観音	高師範	◎種田紅鞠	支部長 南津の辺分会講師
参 与	総 師 範	町 綏雋	雋詠伊賀		高師範	◎本田肇勲	支部長	
常 任 理 事	総 師 範	川村将楓	勢 多	監事	勢 多	師 範	◎高橋肇瑛	春秋分会講師
〃	上 師 範	竹本瑞鼓	丸の内中央	広報部長	高師範	◎寺田将暉	支部長 将暉分会講師	
〃	師 範	中道篤華	四条噺		総師範	◎川村将楓	将楓分会講師	
〃	高 師 範	中村尚瑛	川西北	事務局長	鳳吟大江	高師範	◎吉田鳳裏	支部長
〃	師 範	高橋肇瑛	野崎観音		燁 吟	師 範	◎吉田泉豊	支部長
〃	師 範	森 蘭豊	清和台		燁 吟	師範代	東 燁光	支部長
〃	高 師 範	吉田鳳裏	鳳吟大江		指 月	師範代	河野燁翹	燁吟第一分会講師
〃	高 師 範	吉田泉豊	川西豊友	女性部長		総師範	◎林 華環	支部講師
〃	師 範	野口肇香	野崎観音		清和台		大西智子	支部長
〃	師 範	南 桜紅	四条楠公		川西豊友	師 範	◎森 蘭豊	支部長 支部講師
〃	師 範	遠藤尚豪	多田東	会計部長		高師範	◎吉田泉豊	支部長 豊友こども分会講師
〃	師 範	坂本亮綜	京阪楠葉	副事務局長		高師範	◎田中尚叡	支部講師
〃	師 範	藤原亮晟	京阪楠葉	企画部長	多田東	準師範	辻 總叡	支部長
〃	師 範	嶋澤俊雋	雋詠伊賀	副事務局長		師 範	◎遠藤尚豪	秋桜分会講師
〃	高 師 範	寺田将暉	鳳吟大江	再任		準師範	金子尚恭	鼓友池田分会長
〃	師 範	高谷兼妙	雋詠京都			師範代	仲元幹雄	秋桜分会長
〃	師 範	園部奎雋	雋詠寺川			師範代	山西千恵子	みどり会分会長
〃	師 範	今井彩黎	川西大和				富田英孝	紫陽花会分会長
〃	師 範	山下心鼓	丸の内中央				◎竹本瑞鼓	OKR分会長
理 事	師 範 代	嶋崎瑛籥	野崎観音	青年部長	丸の内中央	上師範	◎山下心鼓	支部講師
〃	準 師 範	小野篁晴	四 条 噺	青年部相談役		師 範	◎山下心鼓	明峰分会講師
						師 範	◎中村尚儒	支部長
						高師範	◎中村尚瑛	支部講師
						高師範	◎中村尚瑛	木曜分会講師
						上師範	永井尚麗	子供きんたクラブ分会講師
							小島儒岳	支部長
						総師範	◎岡島彩鼓	支部講師
						師 範	上阪彩彪	支部長
						師 範	◎今井彩黎	甲山分会講師

太字は平成28年度新任

◎印は常任理事以上で分会講師を兼ねる各部担当役員

各部担当役員	
☆事務局	事務局局長 中村尚瑛
事務局局長	坂本亮綜、嶋澤俊雋
事務局員	小島儒岳、向井萌雋、岡部豪滉
☆会計部	部長 遠藤尚豪、副部長 片山豪香
☆研修部	部長 奥山紅雋、副部長 高橋肇瑛、部員 中道篤華、箱田儒海、樺村儒雲、高谷兼妙
☆教養部	部長 岡島彩鼓、副部長 田中尚叡、會計 園部奎雋
部員	竹内峰鼓
☆広報部	部長 竹本瑞鼓、副部長 辻總叡、會計 齋田儒隆
部員	山下心鼓、谷叡鷲
☆女性部	部長 吉田泉豊
副部長	森蘭豊
☆青年部	部長 嶋崎瑛籥、副部長 今井彩黎、會計 堀彩刻、部員 岡紅志、秋月俊也、瓦林翔太
☆企画部	部長 藤原亮晟
部員	岸場鳳鶯、金子尚恭、河野燁翹、大西智子

新役員 華洲会の将来展望を語る

副会長就任に当たって

副会長 奥山紅雫



この度華洲会の副会長という大任を仰せつかりまして大変恐縮しております。しかしお受けした以上は、私の出来る限りのことをさせて頂きたいと決意を新たにしているところです。

華洲会の本年度の目標の一つに「指導者の育成」「一支部一教場の開設」が掲げられ、二か月に一回指導者養成の研修会が計画されました。これは正に教養部と研修部との担当事項であり、大変な業務担当をすることの責任の重大さを痛感しております。

華洲会は会員数が減少していますが、師範代以上の会員が150人以上居られることは大変な強みだと思います。一人でも多くの指導者と新教室誕生をお願い致します。又優秀な青年部員が育ってきており、これら青年部の活性化にも力を注いでいきたいと思っています。

いずれに致しましても、皆様のご協力なくしては何も出来ません。精一杯務めさせて頂きまので何卒皆様のご協力ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

副会長としての抱負

副会長 中村尚儒



山口華雫会長のもと、全役員が智慧を出し

協力し合いながらより良い華洲会を目指さねばならないと考えます。

この度、再任を含む新常任理事の役員定年が、75歳から暫定的に延長され77歳となりましたが、新役員を含めた3、5年後の、華洲会における中長期的な年齢俯瞰図を描き、最適役員定年が何歳なのか、各部長並びに副部長はそれまでに何をなさねばならないか、真剣に討議され実行に移さねば歳月は瞬く間に過ぎ去ると思われまふ。

言うまでもなく吟界にも高齢化が忍び寄り、各人の気力

体力がそがれて行きます。本人が健康であつても、自分を取り巻く肉親に、何かあれば役員任務どころでは無くなりまふ。複数的な後任の育成と、いつでも仕事を丸投げ出来る組織も作っておく事が、重要な危機管理の一つでしょう。

役員会議の在り方としては、この度の会長交代を大きな契機として、二か月に一回の割合で連絡・研修会が開催される事となり、大きな一歩を踏み出しました。

これと共に、会議の在り方も又考える必要を感じます。即ち、常任相談役会議は華洲会の進むべき道を、大所高所から指導・審議する会議。常任理事会は執行役員として現場観点から捉えた問題点の提議を出す機関に特化し、別々に層別討議される方がよいのではないかと考えます。

このほか、現規約の問題点、各教室の置かれた個々の問題点を出し合い検討する必要もあります。

次の項目は是非とも考えなければならぬ問題点と捉え、微力ながら尽くしたいと思ひます。

- ① 会長が提唱される
会員増員
- ② 教室の後任者育成

③ 会議の在り方

④ 会則変更

⑤ 実行委員会設置

⑥ 年間事業の実行委員会

以上

事務局長を拝命して

事務局長 中村尚瑛



若輩の私が事務局長を拝命する事となった。

をはじめ、華洲会先輩諸先生のご指導とお力添えを頂きながら、何とか責任を果たして行きたいと思っておりますが、事務局の仕事は本当に煩雑で、多岐に亘っております。

総会の資料作りに始まり準備段取り、開催。年二回の昇段試験、案内、受付、実施。華洲会錬成会や競吟大会の案内、受付、集約、プログラム作り、印刷、製本に始まり、審査員先生へのご案内、開催。それに加えて関吟総本部や、地区連合会からの研修会、競吟大会等、種々のご案内を迅速且つ正確に会員の皆様に通達する事。

又、正副常任理事会会議の開催と資料作り等、これら何一つおろそかに出来ない事ばかりです。

かりです。

お陰様で有能なお二人の副事務局長先生や事務局員の皆様に支えていただけた事、又、事務局長経験者のお二人の副会長先生にもお力添えを頂きながら、事務局運営が出来た幸せを有り難く思っております。

しかし乍ら、何よりも各支部の教室の先生や会員の皆様方のご協力が支えとなつて参ります。例えば期限を過ぎてからの申込み等は総本部や地区連の関係部署に多大のご迷惑をお掛けすることになりますし、華洲会の名を貶めることにも成りかねません。私も力不足ではございますが、精一杯務めさせていただきます、少しでも華洲会のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、会員皆様のご指導ご協力を切にお願い申し上げます。

会計の運用

会計部長

遠藤尚豪



会計は公正で厳格に運用され、

総会関連(その2)事業計画

①本部事業として

イ、春季練成会を中止し、新年互礼会当日(平成29年1月9日)に新春練成会を開催。昇段試験を前期・後期(9月17日)、年2回行う
 ハ、各部の事業を華洲会年次計画に織り込む
 ニ、競吟大会の実施(10月9日)

②華洲会規約改定の検討

③研修会の充実として
 イ、指導者養成講座の開講。
 ロ、本部研修会の復講
 ハ、吟力向上の為の研修

会則改訂 役員77歳定年に

会員の高齢化対応の為、役員定年を77歳に2年引き上げます。

平均寿命は年々伸び、女性では90歳になり、元気な高齢者もたくさんおられます。

そのなかで、指導者の育成を積極的に行い、会の活力を維持しながら新規会員獲得を進め、諸施策を全員一丸となつて取り組まねばなりません。よって、役員定年を延長いたします。

会費納入は

支部単位でまとめ、前期会費(4月〜9月)は3月末の会員数にて6月中に、後期会費(10月〜翌年3

誰にも信頼されなければなりません。平成28・29年度の会計を任せられ、皆さんの信頼に答えられる会計を目指します。

まず基本は、規則を尊重し予算に従って厳しくも、弾力性ある運用をする。

そして、マンネリ化した予算運用には、新たな思考が出てきません。トップの意向を

月)は9月末会員数にて12月中に、指定口座へ納入。
 活性化に新機軸を
 吟力アップに注力!!
 会員が多い川西で!!

1、常任理事会には、各支部長・分会長・事務局員も出席できる。(ただし、発言権なし)

2、28年度から「連絡・研修会」を川西市で隔月実施!!

・新年度から原則として、正副常任理事会の無い月に「連絡・研修会」を開催。

・連絡会には、正副常任理事会のメンバーに加え、各支部長、分会長の出席を視野に(可能な限り、事務局員も出席)

・研修会は、師範代以上の希望者(それ以外でも可)で、一回1000円(登録制)とし、年間分を前納する。単発での参加は一回1500円とする

確認し予算を皆さんと一緒に作って作成し、皆さんの意向が最大限に発揮出来る、予算システムが望ましいと考えます。

新年度から新たに常任理事会乃至連絡会が毎月行われます。

予算月とは関係なく予算に関するご意見を、このような場を利用してドシドシ出して戴き、次年度予算に反映して、改善してゆく努力が必要と考えます。皆さんの貴重なご意見によって、より良い華洲会を築いて行きたいと存じます。

会員の高齢化と将来展望
 企画部長 藤原克晟
 現在

は元氣な高齢者の方が多いので

おいで

に成ります。その元氣な高齢者の方々と共に、力を合わせ、華洲会の会員増強運動、活性化などにも積極的に参加して頂き、活動する高齢者、知識豊富で経験豊かな高齢者、魅力あふれる高齢者集団として、中心的な存在に成って頂く。高齢者問題を懸念するので



は元氣な高齢者の方が多いので

に成ります。その元氣な高齢者の方々と共に、力を合わせ、華洲会の会員増強運動、活性化などにも積極的に参加して頂き、活動する高齢者、知識豊富で経験豊かな高齢者、魅力あふれる高齢者集団として、中心的な存在に成って頂く。高齢者問題を懸念するので

に成ります。その元氣な高齢者の方々と共に、力を合わせ、華洲会の会員増強運動、活性化などにも積極的に参加して頂き、活動する高齢者、知識豊富で経験豊かな高齢者、魅力あふれる高齢者集団として、中心的な存在に成って頂く。高齢者問題を懸念するので

なく、むしろ活性化の中心的な位置に据える。
 そのことが、ひいては若い会員の刺激にも成り、青年部と高齢者集団との互いの良さを認め合い、補い合い、共に向上心を持って前進して行く。(相乗効果・シナジー効果)

青年部と華洲会内外の高齢者の方との交流をより積極的に持てる様に企画部としても、方法を模索して行きたいと思えます。

副事務局長に就任して

副事務局長 嶋澤俊雋



この度副事務局長に推薦されいささか驚いています。

年金生活者であり間もなく後期高齢者の仲間入りをする身で気力、体力面で大きな不安があります。華洲会には前事務局長の中村尚儒先生の超人的なお働きにより支えられてきたと言っても過言でないと認識しております。

事務局の多種多様な仕事の中で遠隔地居住者の自分が出ることを今一度整理し、新事務局長中村尚瑛先生をお支え出来るよう老骨にむち打ち頑張る所存です。

常任理事に再任して

常任理事 寺田将暉



この度、先生方のご厚意で常任理事に再任させていただきます

できました。ありがとうございます。仕事や家庭の事で、まだまだ問題がありますが、寄せて頂いた折には、置かれた場所での一生懸命頑張らせて頂こうと思っています。

常任理事 高谷兼妙



詩吟教室を開いて、早六年になります。

この度、華洲会常任理事に任命され、研修部担当になりました。私如きで良いものかと悩みましたが、お役に立つことがあるかも知れないと決意し、お引き受けすることに致しました。研修を通じて学びたいと思います。

私の教室には、詩吟の大好きな仲間がいます。先輩の皆様にはアドバイスや協力を頂きながら、頑張っていきたいと思えます。(其の2はp6)

吟詠歌謡研修を開催 新たな詩吟の世界が広がる

梅薫る2月18日、大東市民会館(大阪・大東市)で華州会企画部による吟詠歌謡研修が開催された。キングレコードの専属歌手でもある中谷将鳳先生を講師に迎えた研修は、時間を感じさせない有意義なものだった。

譜面のある歌謡と譜面のない詩吟との違い、詩吟の基本でもある語尾が子音の場合の読みから節への母音かえし、日常生活の中で実践できる腹式発声練習法、自分の本数の高さに合わせた読みの練習法など、詩吟の基本をさり気なく絡めた中谷先生の熱血指導は、参加者(延べ42名)の笑顔を誘った。

吟詠歌謡研修は今回が2回目、詩吟の深みに加えて新たな魅力・楽しみを感じさせる内容であった。

吟詠歌謡研修会を受講して

多田東支部 中野敏孝

2月18日(木)講師中谷将鳳先生による研修会が実施されました。指導、吟詠歌謡は「稀代の軍師黒田官兵衛」と「細川ガラシャ」で、それぞ



中谷将鳳先生の熱血指導を受ける
受講生・坂本亮綜さん

れ男性、女性が取り組みやすい課題でした。

中谷先生は、詩の背景や意味を解説され、次に一節ずつ区切って歌唱、吟詠指導、最後に全体を通して歌唱するなど丁寧な指導されました。

吟詠歌謡は「吟詠」が主体であり吟詠の部分を正しくし

っかり吟じるようにとの事。吟詠はアクセントが大切で、それには自分の本数で詩を何度も朗読し正しく憶えることが必要。また、発声の基本である腹式呼吸についても詳しく指導されました。

【本部役員(其の2)】 詩吟との関わりを思う時

常任理事 園部 奎雫



中学
の国語
の時間
に『静
夜思』
に出会い、

「カッコイイ!」と思った。高校の時、中学の同級生が応援団に入り、応援団は詩吟の練習をしなければならなかった。「おまえも来い」と声を掛けられたが、男の中に女が一人は嫌だと思い、お断り(今なら喜んで・・)

そこで詩吟を知り初めました。思えば、この出来事が詩吟に関わる原点であったかど。時は走り去り、十数年前に今の詩吟の恩師御二人と出会い、マイナスからの再出発をすることが出来ました。そして『巻頭言』に出会い、今ま

先生の熱心なご指導を受けて最後は全員で大きな声で唱和し、3時間にわたる研修を締め括りました。

この成果を各支部の練成会等で取り入れ、吟詠がより楽しく取り組み易いものとして普及できれば良いなと思っています。

でなぜ詩吟に関わって来られたのか自分の気持ちの整理が出来たように思います。

究極(いつになるかわかりませんが)詩中の人になりたい、岡島先生を初め、諸先輩の方々、全ての会の方々に教えを乞い、自分自身を進歩させることが、会に貢献出来ることと、電子辞書を片手に原稿を書いている次第です。

動くことから

常任理事 今井彩黎



昨年甲山
分会を
足し、常
任理事に
任命して
いただき、

大変光栄に思っております。総会では、山口会長の『皆で決めて、皆で動く』の言葉に感動し、「私のようなもので少しはお役に立てるなら」と思った次第であり、諸先生方の今までの活動、報告に身が引き締まる思いで一杯です。

約二十年程、これまで地域社会という小さな枠で過ごして参りましたので、総会では、詩吟の大会よりも緊張し、話の内容を追いかけるのに精一杯でした。そんな私ですが、

少しでも先生方に近付けますよう、ご指示、ご指導のもと、『動くことから』精一杯させて頂けたらと思っております。宜しくお願い致します

常任理事への抱負

常任理事



①古い
型の人間
である私
の信条は
「信念誠
実努力継
続」です。

②人は60兆個の細胞から出来ており、その細胞が毎日連携して働いている。その結果人間の活動が出来ているという事実。私は朝起きてその細胞に「今日もよろしく」寝際に「今日も支えてくれてありがとう」と感謝し続ける自分でありたいと願っている。
③こんな小さな細胞でさえ連携して支えてくれている。その集合体である人間が知恵を絞って仲よく成果を挙げれない筈がない。頭ではそう思っている。
④「こんな高邁な思い」と現実とは正反対。頑固。凡才、衝突多し、でも黒子で頑張っています。

新指導者養成講座 東明未来塾を受講して

華洲会から今井彩黎・箱田
儒海・片山豪香の三氏が受講東明未来塾を受講して
多田東支部 片山豪香

関吟本部では将来に亘つての組織維持継承の為に、平成27年度から会員増強と会・支部の活性化を担う気鋭の指導者を養成する講座「東明未来塾」を開催した。



古希を迎え東明未来塾の塾生になるうとは夢にも思わぬ事でした。

未来塾開設の狙いは①長期的な会員の減少や高齢化が進む中で、将来の関西吟詩活性化の為に、意欲ある有能な指導者を作る。②組織の力を維持継承するためには、教場を増やすことが肝要であり、教場指導者として必要な幅広い知識・実践力を養成する。

日程は6月開催から、翌年3月まで6回コースで、各回とも一日4時間の講座だ。

研修プログラムは関吟の歴史、人間関係・トラブル解決などの一般教養に始まり、実務課程では漢詩の起源・詩の構造、教本の読み方符号の意味、正しい発声など多岐にわたっている。また、教場の運営要領や会員拡大PRの実践教場立ち上げのノウハウを指導している。

まず全体の学習カリキュラムを見て、広範囲の講義に自分ほどの程度理解出来るのだろうか？ 難しい漢文に始まり、漢詩の歴史、生徒の指導、詩吟の実技等々パニック状態に・・・。

1回目は気合を入れて、2回目は小々リラックス、3回目以降は回を重ねるごとに楽しくなり、アレヨ、アレヨと云う間に楽しい6回目が修了しました。

入会して10年弱、一昨年師範代となり、吟ずることで多少歴史も勉強出来たらと、老後の楽しみに始めたが……学べば学ぶ程、自分の未熟さ、至らなさを思い知らされ自省の念を抱くばかりです。

今回の東明未来塾では漢詩鑑賞（長谷部先生）吟詠実技講習（山口会長）漢文講座（室

谷副会長）等が興味深く印象に残りました。これだけまとまって漢詩の歴史、吟詠の実技、生徒の指導方法等と広範囲に亘って総合的に指導して戴き大変勉強になりました。

これからは、『士氣に老幼なし、大道無門、忘年の交わりを持ち一隅を照らして行けば、目標、実行、成果に繋がる』の意を以て活躍して行きたいと思ひます。充実した講義と熱血講師の先生方、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。私にとりましては、古希の何よりのプレゼントとなりました。誠にありがとうございました。

素晴らしい東明未来塾、沢山の方々が受講されます様に！！

第一期生を卒業して

川西大和支部 今井彩黎



師範代の全6回
月27日
今年3月26日

方から、総師範の先生方まで総数50名以上の参加者の大規模な集まりでした。

発声では、素晴らしい先生方の生声での指導。いろんな

ご指導があったのも全て勉強になりました。

中国の李白、杜甫、王維のおいたち、生き方を知ることによって诗情のとらえ方も変わります。

右脳左脳の思考や理論を司る人間的な脳など。毎回到『面白い話をしてください』と言われているので、早速話すことにします。

『楽しい吟詠』の使い方や本当に知れたかった和歌、俳句の正しい歌い方なども。

何といつても『お取次ぎ』の言葉に感動でした。私の心がとても軽くなりました。

今では『只今よりお取次ぎに入ります』と。前日の教室準備が緊張から楽しみとなりました。人との良い関わりが大事ともご指導頂きました。

一期生として同窓会など意見交換、報告会など有意義な今後もあります。

今後資料、ノートは私の宝物です

華洲会総会にて
山口会長の提案で
熊本地震義援金を募る

被災者に支援のメールを送ろうという山口華雋会長の提案で、カンパ袋が回付され34500円集まった。今後也被

災害の困難な生活の現状に思いを馳せ、支援の継続が望まれます。

支部の動き

一年がたちました

川西大和支部 坂根英夫

我が支部は昨年2月に発足した新しい支部です。その節目として2月24日に漢詩の勉強会を開催しました。

地域の有志にも声をかけ、会員と共に有意義な一時を過ごしました。前半は仲間の中漢詩に造詣の深い赤池保彦さんによる「中国の漢詩の流れ」と題して柳宗元、杜牧、白居易等の漢詩とその詩の背景について学びました。

後半は支部長の上坂彩彰さんによる「漢詩の作り方の基本」として漢詩の種類、用語、平仄法の公式等を勉強し、実際に作ってみました。

途中の休憩タイムには、数日前の川西市詩吟連盟競吟詠大会で、当支部から3人の優勝者を出す事が出来、その優勝吟を披露して皆で喜び合いました。

川西大和支部の二年目を更に活気ある支部として全員で盛り上げていきたいと、心を一つにする絶好の機会となりました。

江南歴史紀行

詩中の景・詩中の情を求めて 多田東支部吟行
平成二七年一〇月三〇日から一月二日までの四日間

いつも詩吟の会で朗読する藤沢黄坡先生の巻頭言にいう詩中の景・詩中の情を求めて、多田東支部の有志に寄り、かねてからの念願であった中国江南地方（上海・蘇州・無錫・南京および杭州）を廻ってきました。古くから「空に天国あり、地上に蘇州あり杭州あり」と詠われ、湖水と緑豊かな景勝地で漢詩の舞台としても余りにも有名な所ばかりです。

一、まず、上海ヒルズ一〇〇階（四九二m）上から最近の上海の発展ぶりに目を見張りました。また古い歴史を経た豫園と上海老街を見て新旧のコントラストに驚きました。ガイドお薦めの少し冷めた小籠包を頂きながら選りすぐりの中国茶寮で一服。

二、楓橋夜泊の寒山寺

まず、第一目的の寒山寺へ。唐詩の中でも「楓橋夜泊」だけが古くからかくも人口に膾炙したのが不思議だが、何回も科挙の試験に落ち、悠愁の気持ちを書いた張継作の詩と超越の書による「楓橋夜泊」の詩碑を拝見し、田中尚勲先生伴奏、岡島彩鼓先生の先導で同詩を、おりからの鐘楼からの鐘の音に合わせて合吟。前半は視覚に、そして後半は



寒山寺熱唱

聴覚に訴えてきます。川柳にいう。

・来てみればさほどでもなし寒山寺

・来てみれば聞くよりはまし寒山寺

・つまらぬと知りつつまた来た寒山寺

皆様はどのように感じたこと

でしょうか。

東洋のピサの斜塔と呼ばれる虎丘（紀元前五〇〇年）を車窓に見ながら「太湖の街無錫」に向かう。

三、山紫水明の無錫

現地ガイドの説明では、こは杜甫の「絶句」が特に有名とのこと、小舟に乗り、舟上で岡島先生の独吟で同詩を拝聴しました。遠い山々と夕日をバックに冴えわたった吟声は眼に焼きつき耳に滲みわたりました。

四、秦淮に泊す

中国が国威をかけて完成した南京大橋（一九三三年完成）を見て李白の「惟見る長江の天際に流るる」ことを確認し、南京国立博物院を觀賞後、秦淮に向かう。

秦淮河のほとりには、登竜門と云われた科挙の試験場所を見て三千人に一人という難関を勝ち得た人の飲びはいかばかりかと想像する。このあたり一、五〇〇年前から現在も賑わっていることですが、夜の風景を見れなかったのが残念。

次は、明をうちたてた朱元璋の陵墓・巨大な石のモニュメントを後にして南京に向かう。南京では何といっても「中華門」は必見です。四重の門と

周囲に張り巡らされた塼は圧巻でした。ホテルに到着後、杜牧の「秦淮に泊す」を合吟

五、西湖散策

南京からバスで四時間、杭州の西湖に向かう。湖の北側には白楽天・蘇東坡が造ったと云われる白堤・蘇堤が各一キロメートル以上続く、何と素晴らしい景色であろう。西湖を縁取る楊柳は緑で湖畔を彩り、この景色を目の前にするとなんとも言葉が出ない。手漕ぎ舟に乗ると再び岡島先生の出番、李白の「越中覽古」を聞く。

西湖は季節の移り変わりに従い、十景が有名で何度尋ねても素晴らしく次回への郷愁を誘う。

以上駆け足で四日間五都市



西湖散策

を駆け巡りました。天候にも恵まれ、慌ただしい旅でしたが、大変楽しく詩中の景と詩中の情を堪能しました。

多田東支部 富田英孝

今井彩黎さん一回目合格

少壮吟士の扉を開ける

山口華雋会長・奥山紅雋副会長の後を指し、今井さんは平成28年3月6日開催の全国大会で第1回目の入選（少壮挑戦は4回目）を果たしました。

お詫び 63号「華」で奥山紅雋副運営委員長のコメントを本人投稿記事として掲載しました。お詫びいたします

【編集後記】

今回の「華」は山口華雋先生が会長に就任後、初めての総会が開催され、新たな人事、斬新な施策が打ち出され、これを中心とした紙面構成になりました。

施策では、高齢化対応と人材活用から役員定年を2年延長、新指導者育成の見地から華洲会版東明塾の開設など。

吟界の今後、5年・10年先を考えたとき、これらの人事・施策が、花開いた明るい希望の光が見えます。「瑞鼓」